

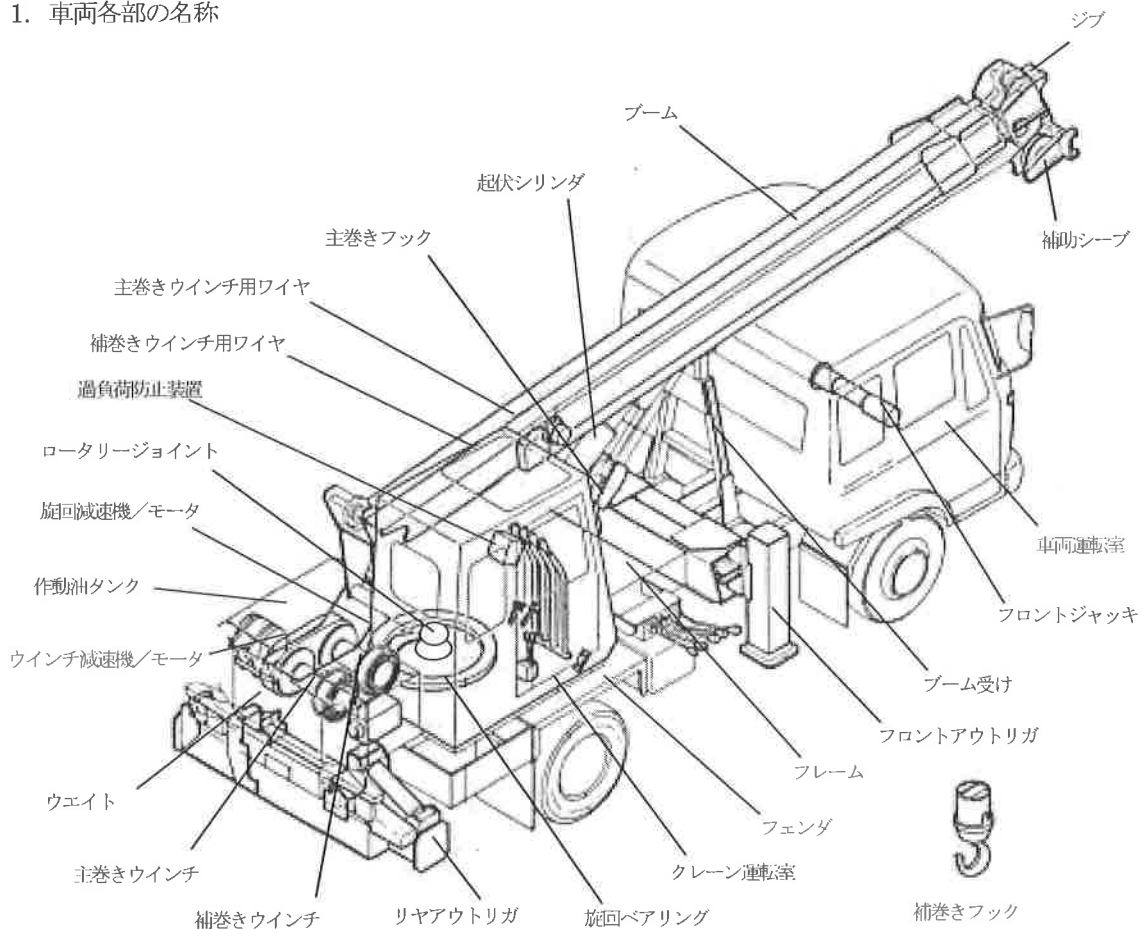
トラッククレーン架装部解体マニュアル

本解体マニュアルは、代表的な機種の一般的な解体例を示していますので掲載された図等は実物と異なる場合があります。

この解体マニュアルは、解体業者が安全に解体するための参考例です。解体作業に当たっては、(社)日本自動車車体工業会のホームページに掲載されている「解体マニュアル(車体工業会共通)」も参考に解体場所、設備、用具に注意し、安全作業及び環境保全に留意するとともに、関係法令を遵守して行ってください。

尚、本解体マニュアルにて解体作業を実施された際に、お客様または第三者に損害が生じた場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1. 車両各部の名称



2. 事前処理

- ① 解体は作動油が流れ出さないように、出来るだけ屋内で行ってください。
また、やむをえず屋外で解体する場合は、作動油等の地面への流出防止策を施してください。
- ② 油圧機器の油圧配管・ホースを取り外す際は、作動油が垂れないように受け皿で受けてください。
作動油量は車両の大きさによっても異なりますが、吊り上げ荷重を目安にした場合の油量は以下の通りです。

吊り上げ荷重	作動油タンク容量	全体油量	架装車両 (参考)
2.9 t/4.9 tクラス	約 90L	約 120L	汎用3トン車クラス
4.9 t/7.0 tクラス	約 120L	約 190L	汎用4トン車クラス
16 t/20 tクラス	約 320L	約 470L	クレーン専用車両
25 t/30 tクラス	約 440L	約 610L	
45 t/50 tクラス	約 630L	約 860L	

- ③ 油圧部品・配管等を外す場合、場所によっては高圧の作動油が閉じ込んでいる場合がありますので、取外しの際には十分注意して作業を行ってください。
- ④ 各部の部品を外す際は、必ずクレーン等で外す部品を支え、安全に留意して行ってください。
なお、ブーム・フレーム等の大型部材については事前に重量等を製造メーカーにお問い合わせください。

3. 解体手順

- ①アウトリガを設置して、ブームを後方または側方に向けてください。
- ②主巻きフック及び補巻きフックを外します。
- ③ワイヤロープ（主巻き及び補巻きウインチ用）をウインチドラムから巻き取ります。
- ④ブーム及びアウトリガを格納してください。
- ⑤給油口のカバーを取り外し、給油ポンプを使用して作動油タンク内の作動油をドラム缶等の容器に抜き取った後、タンク下面のドレンプラグから作動油を完全に抜き取ります。
注）作動油は可燃物です。火気に注意してください。
- ⑥旋回台からブーム側に接続されている、油圧ホース及び配線を切り離します。
- ⑦ベースブーム後端のブームと旋回台を固定しているピン及び起伏シリンダのブーム側のピンを抜いて、ブームを取り外してください。
- ⑧旋回台と起伏シリンダを固定しているピンを抜いて、起伏シリンダを取り外します。
- ⑨ロータリージョイントに接続されている油圧ホース及び配線を全て取り外します。
- ⑩旋回台を取り付けているボルトを全て取り外し、旋回台を外します。
- ⑪エクステンションシリンダ（アウトリガ張り出し用）を固定しているピンを抜き、油圧ホースを切り離してアウトリガインナーケースを取り外します。
- ⑫フロントジャッキを取り外します。
- ⑬フェンダ、ブーム受け等のフレーム取付部品を取り外します。
- ⑭サブフレーム周りの油圧機器に接続してある油圧ホースを外した後、作動油タンク・バルブ・油圧ポンプ・プロペラシャフト等を取り外します。
- ⑮サブフレーム周りの配線を取り外します。
- ⑯架装物とシャシを締結しているボルト及び溶接しているサポートを切り離し、サブフレームを降ろします。
- ⑰以上で架装物の大まかな解体は終了です。

解体した油圧部品内部に残留している油脂類を全て抜き、適正な処理を行ってください。

※ クレーン専用キャリヤに架装している16～50t吊りクレーン車は上記⑯の作業は不要です。

4. 終わりに

本解体マニュアルでは、4トン車架装のトラッククレーンを基本に、解体手順の概要について記載してあります。詳細についてお知りになりたい場合は、車両の製造プレートに記載されている製品型式（架装型式）及び製造番号をご確認の上、製造メーカーにお問い合わせください。

< 参考資料 >

○トラッククレーンの主要使用材料は、下記のとおりです。解体の際には金属類、樹脂、ゴム等に分別処理してください。

No.	主要名称	部品	材料1	材料2	材料3	材料4	備考
1	ブーム	ベースブーム	鉄				
		セカンドブーム	鉄				
		トップブーム	鉄				
		ジブ	鉄				
		補助シーブ	鉄				
		伸縮ワイヤロープ	鉄				
		シーブ	鉄				
2	旋回台	旋回フレーム	鉄				
		旋回ベアリング	鉄				
		ロータリージョイント	鉄	樹脂	ゴム	配線	
		ウインチ	鉄	樹脂	ゴム		
		クレーン運転室	鉄	樹脂	ゴム	ガラス	
		外装カバー	鉄				
3	フレーム	フレーム	鉄				
4	アウトリガ	フロントアウトリガ	鉄				
		リヤアウトリガ	鉄				
		フロントジャッキ	鉄	樹脂	ゴム		
5	油圧系部品	各油圧シリンダ	鉄	樹脂	ゴム		
		油圧ポンプ	鉄	樹脂	ゴム		
		コントロールバルブ	鉄	樹脂	ゴム		
		旋回減速機	鉄	樹脂	ゴム		注
		旋回モータ	鉄	樹脂	ゴム		
		ウインチ減速機	鉄	樹脂	ゴム		注
		ウインチモーター	鉄	樹脂	ゴム		
		油圧ホース	鉄	布入りゴム	ワイヤ入りゴム	又は樹脂	
		油圧配管	鉄				
		油圧配管継手	鉄				
		作動油タンク	鉄	ゴム			
		作動油	油				
6	電気系部品	過負荷防止装置	鉄	樹脂(基板)	ゴム		
		ハーネス	配線	樹脂	銅合金(端子)		
		各検出器	鉄	樹脂	ゴム	配線	
7	その他	フック(主巻、補巻)	鉄				
		ウインチ用ワイヤロープ(主巻、補巻)	鉄				
		ウエイト	鉄				
		工具箱	鉄				
		フェンダ	鉄				
		サイドガード	鉄				
		ブーム受け	鉄				
		盤木	鉄	木		又は廃プラ	